

年間授業計画

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 総合的な探究の時間 科目 課題研究

教科: 総合的な探究の時間 科目: 課題研究 単位数: 2 単位

対象学年組: 第3学年 1組~6組

教科担当者: 15名のゼミ担当者

使用教科書: なし

教科 総合的な探究の時間 の目標:

【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己の関わりから問いを見だし、情報収集したことを整理・分析してまとめ、発表する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 課題研究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。	実社会や実生活と自己の関わりから問いを見だし、情報収集したことを整理・分析してまとめ、発表する力を身につける。	課題研究に主体的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、実社会や実生活に役立てようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A オリエンテーション 【知識及び技能】 探究の意義と目標について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 研究テーマと活動について目的に合っているかを確認させる。 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動の見直しをもたせる。	・1年間の学習内容について説明し、探究活動の見直しを立てさせる。 ・各ゼミ内で、これから探究していく「研究テーマ」について各自発表させる。	【知識・技能】 探究について理解を深めることができた。 【思考・判断・表現】 目的と照らし合わせながら研究テーマについて再度確認し、必要に応じて修正できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究の見直しを立てることができた。	○	○	○	2
	B 講義と探究活動 【知識及び技能】 仮説の立て方、調査・実験の方法、考察から結論までの進め方などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 講義を受けて学んだことを、探究活動に活用させる。 【学びに向かう力、人間性等】 講義を受けて学んだことを探究活動に活用できるよう導く。	・講義 ①「仮説の立て方」 ②「調査・実験方法」 ③「考察から結論まで」 ・一人1台端末を活用し、OneNote上で活動報告や研究内容をまとめさせる。	【知識・技能】 ①~③についての方法が理解できた。 【思考・判断・表現】 ①型に沿って3つの仮説を立てることができた。 ②仮説に合った調査・実験の方法を決定することができた。 ③考察の仕方と結論の導き方について考えることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 得た知識や技能を活用しながら、OneNoteの「探究ノート」に思考の過程をメモしたり、情報の整理をしたりしている。	○	○	○	12
	C 中間報告書の作成 【知識及び技能】 書くべき内容とポイントについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 これまでの研究内容とこれからの活動内容についてレポートにまとめさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい報告書となるよう他者意識をもたせる。	・講義 「中間報告書の書き方」 ・一人1台端末を活用し、中間報告書を作成させ、OneNote上で活動報告や研究内容をまとめさせる。	【知識・技能】 書くべき内容とポイントについて理解することができた。 【思考・判断・表現】 これまでの研究内容とこれからの活動内容についてレポートにまとめることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 期限内に中間報告書を提出できた。	○	○	○	4
2 学 期	D 講義と探究活動 【知識及び技能】 論文のまとめ方、プレゼンテーションの仕方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 講義を受けて学んだことを、探究活動に活用させる。 【学びに向かう力、人間性等】 講義を受けて学んだことを探究活動に活用できるよう導く。	・講義 ①「論文のまとめ方」 ②「プレゼンテーションの仕方」 ・一人1台端末を活用し、研究内容を論文にまとめさせる。 ・プレゼンテーションソフトを活用し、発表資料を作成させる。 ・OneNote上で活動報告や研究内容をまとめさせる。	【知識・技能】 ①②についての方法が理解できた。 【思考・判断・表現】 ①規定に合った論文をまとめることができた。 ②わかりやすいプレゼンテーション資料を作成することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い論文となるよう、添削内容を踏まえて何度も書き直しをしている。	○	○	○	12
	E 研究成果発表 【知識及び技能】 互いの発表から技術を学ばせる。 【思考力、判断力、表現力等】 発表を批評する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 相互的に学び合う姿勢をもたせる。	・ゼミ内発表会 ゼミ代表を決定する。 ・ゼミ間発表会 他ゼミの発表を見合う。 ・全体発表会(全校生徒参加) 15人のゼミ代表者に全校生徒の前で研究発表。	【知識・技能】 他者の発表からより高い発表技術を学ぶことができた。 【思考・判断・表現力】 発表について、研究内容や発表の仕方などクリティカルな視点で批評することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 これからの自分の生き方や在り方をより良くするために学びを得ようとする姿勢が見られた。	○	○	○	15
3 学 期	F 1年間の振り返り 【思考力、判断力、表現力等】 1年間の活動を振り返り、成果と課題について自分の考えをまとめさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 1年間の学びを、これからの自己の生き方や在り方に繋げさせる。	・一人1台端末を活用し、課題研究を通して学んだことや得られた成果、そこから生まれた課題についてまとめさせる。	【思考・判断・表現力】 1年間の活動を振り返り、成果と課題について自分の考えをまとめることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 期限内にまとめたものを提出することができた。	○	○	○	1
							合計
							46